

1 鳥越二丁目町会

(台東区)

構成世帯数：989 世帯（令和 2 年）

子供の参加する行事に力を入れる

鳥越神社の宮元としての誇りを力にまちづくりを推進

●ポイント

- ・鳥越神社の例大祭を中心に町会の人たちが力を合わせ、まちの活性化につながる活動を展開。
- ・急増したマンションの住民を対象とした新規加入の獲得が課題。管理組合で不参加を決議する事例も発生している。
- ・子供を対象とした活動が充実。大人向けや外国人も参加しやすいイベントも考えていきたい。

千貫神輿を宮元で担ぎたいと引っ越して来る人も

鳥越二丁目町会には、創建 1370 年の歴史と伝統があり、千貫神輿で特に有名な鳥越神社が鎮座しており、町会では毎年 6 月初旬の例大祭を中心に、神社の行事に対応して年間のスケジュールを調整している。地理的には、JR 線、都営地下鉄浅草線、大江戸線の各駅や複数路線のバス停が近く、交通が大変便利で、治安も良く住み良い地域とされる。

鳥越二丁目町会長は「鳥越神社の宮元（例大祭時の町名）として誇りを持って日頃から活動しています。時代の流れでマンションが急増し住民も増えました。千貫神輿を宮元で担ぎたいと引っ越して来る人も増えています」と説明。神社の例大祭が人々を引き付ける大きな魅力になっている。

そうした中、町会は任意組織なので加入しなくても良いという裁判の判決が出たことを理由に、管理組合の総会で不参加を決議するマンションが数棟出てきており、鳥越二丁目町会では対応について研究検討を進めている。

最近外国人の居住者も増えているが、町会費を元に安全で安心な住み良い町づくりを目指していることを説明し、複数の人たちに町会に加入してもらった。ただし、「文化や生活習慣の違いがあり、特に食文化についてはどうしようもありません。もちつき大会に親子で参加し、おもちはおいしく食べてくれましたが、女性部が配っている豚汁は宗教上食べられないとのことで、難しさを実感しました」と報告している。

新しい住民のお宅を訪問して町会入会を要請

新規加入については、班長、組長が近所の様子を把握しているので、住民の移動などを確認した時は速やかに役員に連絡する体制として、対象の住まいを訪ねて入会のお願いをしている。

新築マンション建築計画の段階で町会長の許可を得るよう台東区が業者に指示しているので、この段階で町会費の相談をして入居者全員が入会してもらえるように要請している。しかし、その段階で合意していても、販売後、入居者による管理組合の総会において町会への不参加が決議されるとそのマンション全員が不参加になってしまう。

マンション全員が不参加になってしまった時に、子供のいる世帯やお祭り好きな人の中には、単独で入会してくれる世帯もある。そのような人が住むマンションには、ポスティングで入会の案内をしていくように準備を進めている段階となっている。

担い手育成については、「子供を対象としたもちつき大会やバスハイキングなどの親子で参加してくれる行事の時に、参加してくれた若いお父さんお母さんに積極的にお手伝いをお願いし、青少年部やママさん会にお誘いして町会行事にも参加していただいております」と会長。令和元年度（2019年度）は、東京都の「地域の底力発展事業助成」を元年12月15日に実施した「もちつき大会」に活用した。

こどもが主役のもちつき大会を開催し、5世帯が新規に加入

この「もちつき大会」は、鳥越二丁目町会が単独で開催。鳥越二丁目町会会館前の道を会場に、小学生と幼稚園児を主役にもちつきを体験してもらい、皆でつくたてのおもちや豚汁を食べながら交流を深めるといふもの。会長が町会会長としてあいさつ。オリンピック・パラリンピックの気運醸成につながる話をして、子供たちには「この中からオリンピック選手が出るかもしれません。そのときは、町会だけではなく台東区全体で応援に行きます」などと語りかけ、雰囲気盛り上げた。

活動を通じて、住民同士の交流が深まり、今後の活動を担う人材の育成につながったほか、5世帯が新規に加入する効果もあった。

新規加入を促進する取組は、ポスターや回覧板、小学校父母ネットワークによる呼びかけが主体となっている。助成事業で新たな近隣住民の参加は増えたが、イベントの運営側への加入にまでは至っていない。

大人向けや外国人が参加しやすい新たなイベントも実現させたい

地域内では、複数のもちつきイベントがあり、杵臼などもちつき用道具の搬出に関しては、地域のPTAなどと協力して行っている。

子供向けのイベントは助成事業も含めて例年、年間4～5回実施してきた。具体的にはバスハイク、花火大会、ボッチャ大会、かるた大会、夏休みラジオ体操、もちつき大会、防災・防火訓練などがある。

町会員を増やすためには、そうした子供向けイベントだけでなく、それに付随した、または独立した親が参加できる大人向けの活動があっても良いというのが会長の考え。「過去に助成事業外のイベントで酒類提供も行ったが、結果は出なかったもので、新たなイベントなどを考えていかなければならない」という。

また、地域には外国人も増えており、外国人も参加しやすいイベントも考えていきたいとしている。

新規会員が町会に加入した動機については、「子供がおり、地域活動している父母との知人で、協力しやすい。子供たちが喜ぶ姿を見られるほか、会社とは違う大人同士の付き合いも楽しいのではないかと

みている。



鳥越二丁目町会会員の心の拠り所となっている鳥越神社



鳥越2丁目の街並。中小のビル、マンションなどが増加、戸建て住宅が減少